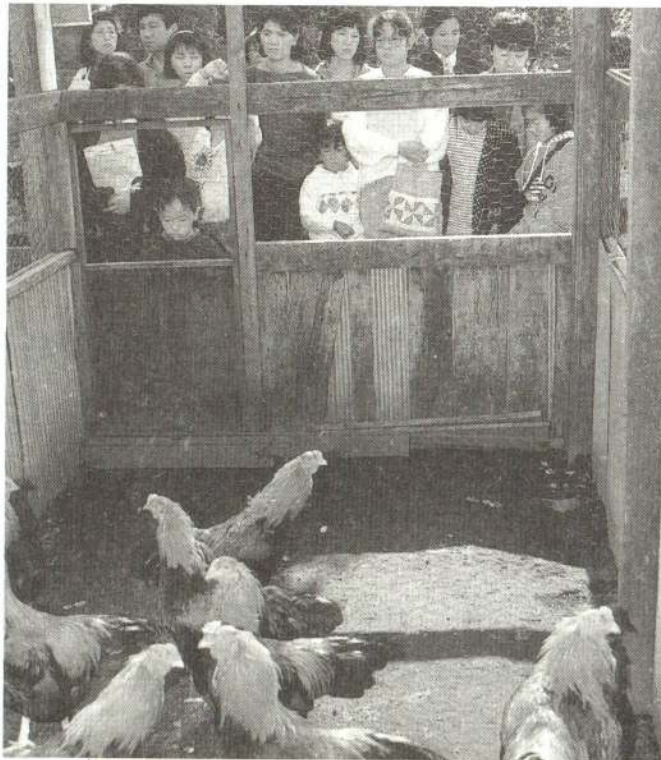


ほろ
すけ

「親子・ふるさと探険」号

ほろ
すけ



↑「これが比内鶏なの、初めて見たわ」とお母さん。子供たちは卵のふ化場も見学しました
——山田記念館

10月18日(日)、「親子・ふるさと探険」号が72人の参加者に乗せて市内の施設や文化財を巡りました。

今回のコースには、秋田三鶏保存会の「山田記念館」やカントリーエレベーターが組み入れられました。初めてみる施設に子供たちはもちろん、お父さんお母さんも目を丸くしていた様子。

高い空にトンボが舞う秋晴れの1日、驚きと再発見のふるさと探険の旅でした。



→ 昼食が済むと子供たちは遊びに夢中。「今度はあつち行こうよ」市民の森



← 市長室のいすの座り心地はいかがですか？
——市長室



→ 「こんなのが混じると機械が壊れます」みんな納得
——ごみ焼却場

市長リポート



No.32

住みやすいまちに

大館市では、八月の住宅着工件数が八十五戸、前年同月比で七十一戸増という顕著な伸びを示しました。大変結構なことだと思います。また、国産材の利用拡大という意味からしても、今後とも住宅着工・住宅の建て替えは進めていただきたいと思っています。

住宅着工件数が増えたのは、大幅な公共投資が大館になされたこと、そして道路や公共下水道の整備といった公共事業が確実に進んでいること、こうしたことを考え合わせていただいた結果の一つと想像しています。

住宅を建てるということは、大館にずっと住もうということですから、地域経済活性化のためにも、またそのバロメーターとしても、着工件数増加は素晴らしいことと言えるでしょう。これからも、住みやすいまちづくり、新しい住宅がどんどん建てられるようなまちづくりのため、大いにかんばっていききたいと考えています。

小畑 元